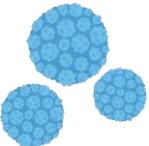


保健管理センターニュース

2025年10月

感染性胃腸炎(ノロウイルスなど)について

ノロウイルスは、乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層で急性胃腸炎を引き起こす、ウイルス性の感染症です。月別の発生状況をみると、一年を通して発生はみられますが11月くらいから発生件数は増加しはじめ、12～翌年1月が発生のピークになる傾向があります。



ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、人の腸管で増殖し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。ノロウイルスは感染力が強く、大規模な食中毒など集団発生を起こしやすいため、注意が必要です。

11月に開催する浜大祭には不特定多数の方が来場されます。食品取扱い団体の方は衛生管理をしっかりと行い、食中毒対策を徹底してください。

＜予防対策のポイント＞

- 特に食事前、トイレの後、調理前後は石鹼でよく手を洗い、流水で十分に洗い流しましょう。
- 加熱して食べる食材は中心部までしっかり加熱（中心温度85度から90度で、90秒以上）するようにしましょう。
- 調理器具は使用後すぐ洗いましょう。熱湯（85°C以上）で1分以上の加熱消毒も有効です。

＜教職員の方へ＞

2025年度の定期健康診断は終了しました。

健康診断の結果、異常なし・要注意（A・B）と判定された場合も、経年変化（毎年数値が上昇または下降していないか等）を確認しましょう。自分の生活習慣を見直し、改善できることがないか考えましょう。

要再検査・生活改善、要治療、緊急受診（C～E）と判定された場合は、自覚症状がなくても放置せず、早めに医療機関を受診してください。

健診結果と一緒に「受診結果報告書」が同封されている場合は、医療機関を受診した結果をご自身で記入し、必ず期日までに提出してください。

安全に健康に働く職場づくりのために、教職員は自らの健康の保持増進に努めるものとされています。健康診断を受けていない方は、個人で医療機関を受診し、労働安全衛生法に基づく定期健診項目を受けてください。受診後、速やかに結果（写し）を、各所属の健診担当まで提出してください。

キャンパス相談案内

学生・教職員からの相談を受けています

総合窓口【問い合わせ・申込】

Tel 045-787-2039

Mail soudan@yokohama-cu.ac.jp

（保健管理センター 金沢八景キャンパス）

自律神経の働きについて

9月は前半から後半にかけて気温がさがり、天候の安定しない日が続きました。10月になって環境の変化があった人はそのストレスも加わって、不調が出やすくなっているかもしれません。

人体に備わる自律神経は、気候やストレスの影響を受けやすいとされています。自律神経は、身体を活発に動かしたり、興奮・緊張したりしたときに働く「交感神経」と、休息・リラックスしたときに働く「副交感神経」に分けられます。これらふたつの切り替えがうまくいかなくなると、不眠、抑うつ、だるさ、頭痛、便秘や下痢といった症状が出てくることがあります。

自律神経の乱れによる不調を予防したり治したりするためには、ストレスへの対処や生活習慣を整えることが重要です。特に充分な睡眠や、適度な運動などが効果的です。もし自分だけではどうにもならないと感じたら、医療機関の受診やキャンパス相談の利用を検討してみてください。



＜心理士相談対応時間＞

金沢八景キャンパス	月～金	9時～17時
福浦キャンパス・附属病院	月・火・木・金	12時15分～17時
市民総合医療センター	原則 火 or 水	13時～17時
鶴見キャンパス	月2日(月末に翌月の開室案内をします)	
舞岡キャンパス	随時	

*詳細はお問い合わせください